

【授業実践振り返りカード】

学校名 境小学校	学年 1年
授業者氏名 矢崎美咲	
題材名 「 歯磨ききちんと 磨けているかな 」	
主 眼<フォーマット> ○○について学んだ（or 体験した・調査した）子どもたちが（既習や経験）、○○に着目し（健康教育や食育との教科等横断的な学習に係わる見方・考え方）、○○することを通して（本時の中核的な学習活動）、○○する力（育成する資質・能力）を培うことができる。	
主 眼 毎日の歯磨きをしている子どもたちが、歯ブラシの正しい使い方に着目し、動画で順番に歯を磨きながら、歯ブラシを正しく使えているかチェックすることを通して、これからも正しく歯ブラシを使い、隅々まできれいに歯を磨く意識を培うことができる。	
学習材 （本時、子どもに提供する最大の情報：実践家や専門家の話の要点・KYT のイラスト等） 歯磨きの動画	
成 果 ごしごし磨きの歯ブラシの使い方をやって見せると、それだと歯と歯の間が磨けていないことに気づくことができた。こちょこちょ磨きをするとブラシの部分が立ってぴかぴかに磨けることを実感していた。	
課 題 声かけをすると意識するのだが、慣れてくると歯ブラシを大きく動かして正しく使えなくなってしまう。鏡などがあれば動画と併せて自分は正しい使い方になっているのか視覚的に確認できるとなお良い。	

【授業実践振り返りカード】

学校名 境小学校	学年 2年
授業者氏名 松山 浩之	
題材名 「もういちどたしかめよう はぶらしの使い方」	
主 眼<フォーマット> ○○について学んだ（or 体験した・調査した）子どもたちが（既習や経験）、○○に着目し（健康教育や食育との教科等横断的な学習に係わる見方・考え方）、○○することを通して（本時の中核的な学習活動）、○○する力（育成する資質・能力）を培うことができる。	
主 眼 ブラッシングの目的や効果について考えることなく、ただ漫然と歯磨きをしている子どもたちが、歯肉炎や虫歯につながる歯垢を早歯と歯茎の隙間から取り除くために歯磨きを行うこと、力を入れずに細かくブラスを動かすと歯垢がとれやすくなることを再確認することを通して、自身の歯磨きの取り組み方を改善し、目的意識を持って歯磨きを行う姿を期待することができる。	
学習材 （本時、子どもに提供する最大の情報：実践家や専門家の話の要点・KYT のイラスト等） 少年写真新聞1373号（R6年10月28日号）『歯ブラシの使い方を覚えよう』	
成 果 6月の歯科指導で教えていただいたことを思い出し、歯磨きの目的を確認することができた。鏡で自分の歯垢のとれ具合を確認したことで、自分の歯磨きが歯垢を落とせていないことを確認し、正しいブラッシングしなければとの必要感を持つことができた。	
課 題 指導の翌々日、鏡で口腔内を確認した。13名中3名は『歯垢がとれた』としたが、残りの子どもたちは、歯垢がのこっていたり、正しいブラッシングをしないでいたりした。今後も繰り返し口腔内を確認する機会を取り、意識しなくても正しいブラッシングができるようにしていきたい。	

【授業実践振り返りカード】

学校名 境小学校	学年 3年
授業者氏名 脇山大河	
題材名 「手洗いうがいってなんですか？」	
主 眼<フォーマット> ○○について学んだ（or 体験した・調査した）子どもたちが（既習や経験）、○○に着目し（健康教育や食育との教科等横断的な学習に係わる見方・考え方）、○○することを通して（本時の中核的な学習活動）、○○する力（育成する資質・能力）を培うことができる。	
主 眼 外から帰ってきた際、手洗いうがいをしない子どもたちが、感染症にかかるしくみに着目し、どのように感染症防止に取り組むか考える活動を通して、手洗いうがいをする事の大切さに気づくことができる。	
学習材 （本時、子どもに提供する最大の情報：実践家や専門家の話の要点・KYT のイラスト等） ・ウイルスが体内に入る流れやその防止に関する動画	
成 果 ・インフルエンザが流行ってきた際、外から帰ってきたときに、友達同士で手洗いうがいをしたか確認し合うような声かけが見られた。	
課 題 ・自分で気づいて手洗いうがいができる子とそもそも気づいていない子がいるので、習慣化できるように長期的に声をかけていきたい。	

【授業実践振り返りカード】

学校名 境小学校	4 学年
授業者氏名 柏原 健	
題材名 「 ぱたから体操の振り返り」	
主 眼<フォーマット> ○○について学んだ（or 体験した・調査した）子どもたちが（既習や経験）、○○に着目し（健康教育や食育との教科等横断的な学習に係わる見方・考え方）、○○することを通して（本時の中核的な学習活動）、○○する力（育成する資質・能力）を培うことができる。	
主 眼 ぱたから体操の取り組みが雑になってきている子どもたちが、学校生活の中で行っている歯磨きだけでなく、ぱたから体操の取り組みや効果について振り返ることを通して、効果を実感し、取り組み方の意識を変容することができる。	
学習材 （本時、子どもに提供する最大の情報：実践家や専門家の話の要点・KYT のイラスト等）	
成 果 ・発音がよくなった、早口言葉がしやすくなった（言葉を発しやすくなった）など効果を実感し始めている児童も出てきた。 ・めんどくささ、やりにくさを感じて取り組めていないことを振り返った上で、効果を実感している児童の話聞いて意識が変わっている児童も見られた。 ・学校生活の中でも昼前以外にもできそうな時間を見つけ、朝の時間にもやろうとぱたから体操に取り組む機会を増やそうとしていた。	
課 題 ・実感が得られているのか分からないと答えている児童が多かったので、やる前とやってきた後で違いが分かるものを用意した方がよいと感じた。 ・まだ、よさを実感できるところまでいっていないので、気持ちが切れないように取り組んでいく方法を児童と共に考えたい。	

【授業実践振り返りカード】

学校名 境小学校	学年 5年
授業者氏名 芳沢将吾	
題材名 「 バイトスキャンを活用した歯と口の健康 」	
主 眼<フォーマット> ○○について学んだ（or 体験した・調査した）子どもたちが（既習や経験）、○○に着目し（健康教育や食育との教科等横断的な学習に係わる見方・考え方）、○○することを通して（本時の中核的な学習活動）、○○する力（育成する資質・能力）を培うことができる。	
主 眼 食事はよく噛んで食べた方がいいと知っている子ども達が、自分の食事の噛む回数に着目し、バイトスキャンを使い実際に数字を見ることを通して、自分の咀嚼や食行動の癖を知り、生涯を通じた歯と口の健康作りを目指すことができる。	
学習材 （本時、子どもに提供する最大の情報：実践家や専門家の話の要点・KYT のイラスト等） ・バイトスキャン	
成 果 ・自分がどのくらい噛んでいるかが分かり、意識して咀嚼をすることができた。姿勢などのデータも出ることから、食事中の姿勢についても意識することができた。	
課 題 ・よく噛むことはいいことは分かっているが、その結果が今すぐ現れないことなので、「いっぱい噛めた」「少なかった」で終わってしまう。子どもたちの中で、「ゲーム感覚」に寄らないように、教員による価値づけが必要であった。	

【授業実践振り返りカード】

学校名 境小学校	学年 6年
授業者氏名 戸谷 正臣	
題材名 「 バイトスキャンを活用した歯と口の健康 」	
主 眼<フォーマット> ○○について学んだ（or 体験した・調査した）子どもたちが（既習や経験）、○○に着目し（健康教育や食育との教科等横断的な学習に係わる見方・考え方）、○○することを通して（本時の中核的な学習活動）、○○する力（育成する資質・能力）を培うことができる。	
主 眼 食事はよく噛んで食べた方がいいと知っている子ども達が、自分の食事の噛む回数に着目し、バイトスキャンを使い実際に数字を見ることを通して、自分の咀嚼や食行動の癖を知り、生涯を通じた歯と口の健康作りを目指すことができる。	
学習材 （本時、子どもに提供する最大の情報：実践家や専門家の話の要点・KYT のイラスト等） ・バイトスキャン	
成 果 ・実際に数字がでてくることで、自分がどのくらい噛んでいるかが分かり興味をもつことができていた。	
課 題 ・よく噛むことはいいことは分かっているが、その結果が今すぐ現れないことなので、「いっぱい噛めた」「少なかった」で終わってしまう。生活習慣病のところでも、話をしたが、今の生活が大切だということを伝えられるようにしたい。	